

アメリカ西海岸短期滞在
物理学専攻 博士二年 一戸悠人

ALPS短期海外派遣プログラムを利用して、11/8から11/23の二週間、アメリカ合衆国の西海岸に滞在した。最初の週は、IEEE NSS MIC 2014国際会議に参加するためにシアトルを訪れた。この会議は核物理学に関係した様々な分野、加速器や検出器物理はもちろんのこと、医学応用や室温半導体検出器などを網羅する、比較的大きな国際会議である。口頭発表をした他に、一週間にわたる様々な分野のセッションや400枚を超えるポスターセッションに参加した。様々な話題の中でも、特にコンプトンカメラや CdTe, CdZnTe 半導体検出器の最近の世界の動向を知ることができ、私のグループの研究が世界のどのような位置にいるのかを大きな視点から知ることができたことは貴重な経験であった。翌週はパロアルトに移動し、スタンフォード大学の X線宇宙物理学・観測的宇宙論グループに通算二度目の訪問をした。受け入れ人である Steve Allen 教授、Greg Madejski 博士は私をグループメンバーのように扱ってくれたので、とても居心地の良い訪問であった。最近共同でサブミットした論文のレフェリーレポートについて話し合うとともに、次のプロジェクト、及びこれから先にわたっても共同研究を続けて行く事を確認した。英語で研究について議論できる事はもちろんであるが、食事中やコーヒープレイク中のカジュアルな会話に幅広く対応できる英語力を身につけることが、海外研究者と良い関係を育むのには必須であると改めて感じた。



IEEE NSS MIC 2014



Stanford PAB building



SLAC Fred Kavli building